

旅行取扱状況の概観（平成28年4月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱いは、一般団体は前年比111.1%、学生団体は同119.7%と上回り、団体旅行合計で同112.6%と前年を上回った。企画旅行については前年比90.9%と前年を下回り、個人旅行については同87.5%と前年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比94.0%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱いは、一般団体は前年比86.6%、学生団体は同99.1%と前年を下回った。その結果、団体旅行合計で同94.2%と前年下回った。企画旅行については前年比89.4%、個人旅行については同91.8%と前年を下回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、91.0%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比122.4%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の4月の総取扱額は前年比93.4%となり、前年を下回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は大型の周年旅行や見本市・展示会旅行の取扱いの影響で、前年比111.6%と前年を上回った。学生団体は語学研修や短期留学、遠征旅行などの取扱い人数が伸びたことにより、同119.7%と前年を上回り、海外団体旅行合計で同113.0%と前年を大きく上回った。

国内団体については、一般団体は前年にあった大型の大会・会議や周年団体参拝の影響で、前年比86.0%と下回った。学生団体は修学旅行は伸びたものの各種スポーツ大会の取扱い額の減少などにより前年比99.1%と前年から微減となった。この結果、国内団体旅行合計で前年比95.2%と前年を下回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱額で前年比82.5%と前年を下回った。方面別取扱人数の状況では、北海道、東北、信州方面は好調であったが、その他の方面は前年を下回った。

ホリデイは、テロ等外的要因が影響し、ヨーロッパ方面は引き続き不調であった。オセアニア・ハワイは前年を上回ったものの、他の方面は前年を下回った。この結果、前年比83.0%と前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、パリやトルコで発生したテロの影響もあり、南欧は前年を上回ったがヨーロッパの他の地域は前年を下回った。アジア方面やクルーズが好調であり、取扱額で前年比101.0%と前年を上回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、引き続き北海道新幹線の開通効果により北海道方面は好調を保ったが、前年の善光寺のご開帳や北陸新幹線開業の影響により前年比88.0%と前年を下回った。

バス旅行部門は、スキーバスの転落事故の影響に加え、熊本地震も重なり前年比92.6%と前年を下回った。

テーマ旅行部門は、海外のマラソンやカルチャーの歴史シリーズ商品などが好調であったが、カルチャーの寺旅シリーズ商品や名阪地区のひとり旅などが不調で、前年比94.5%と前年を下回った。

以上